

E Uの乳製品生産・輸出動向



平成26年7月25日

独立行政法人農畜産業振興機構 調査情報部 宅間 淳

本日の内容

- I. 世界の乳製品需給
- II. EUの牛乳乳製品市場の現状
- III. 生乳生産割当（クォータ）制度の廃止
- IV. 今後の見通し

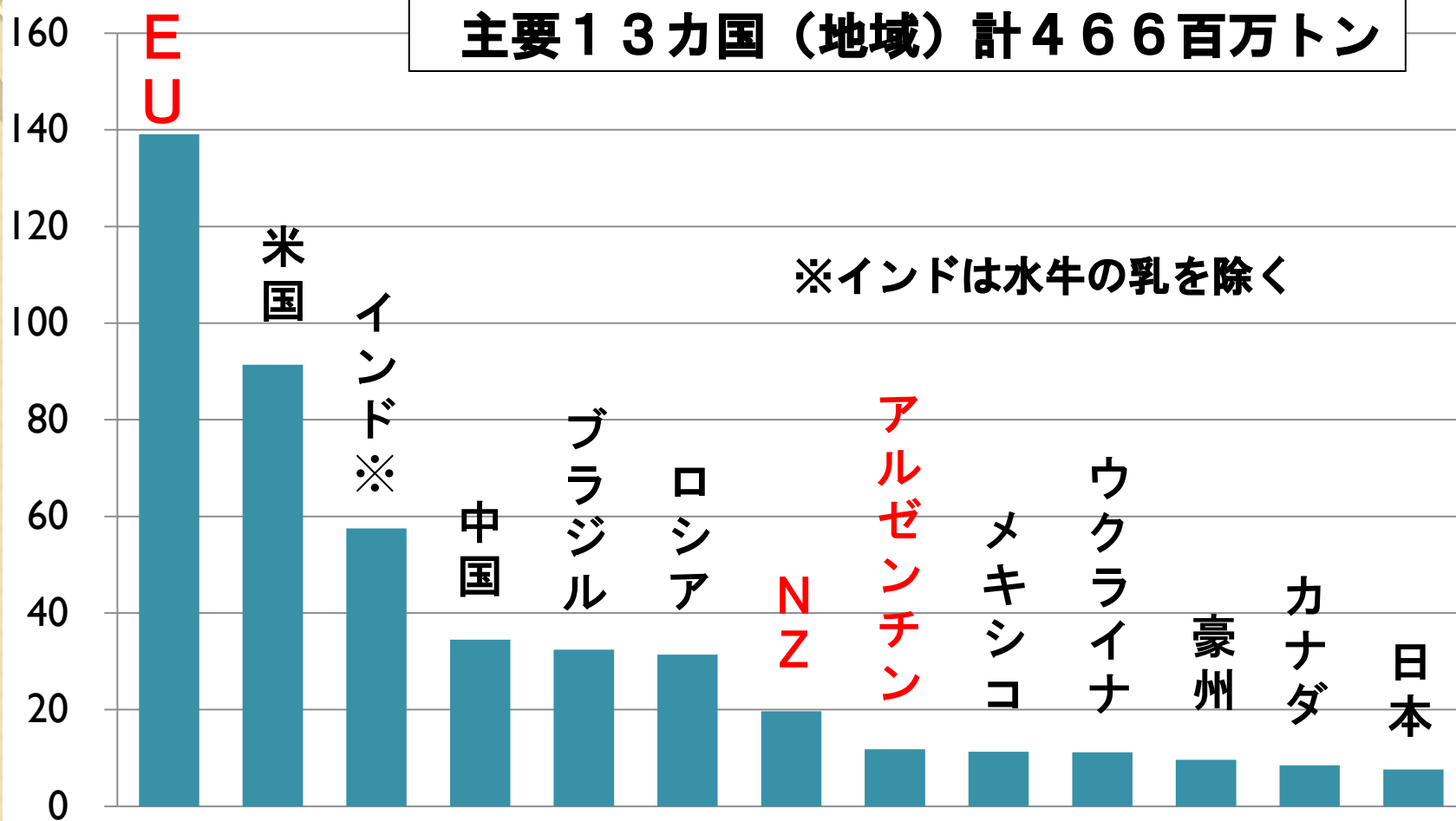


I 世界の乳製品需給

主要な生乳生産国（2013年速報）

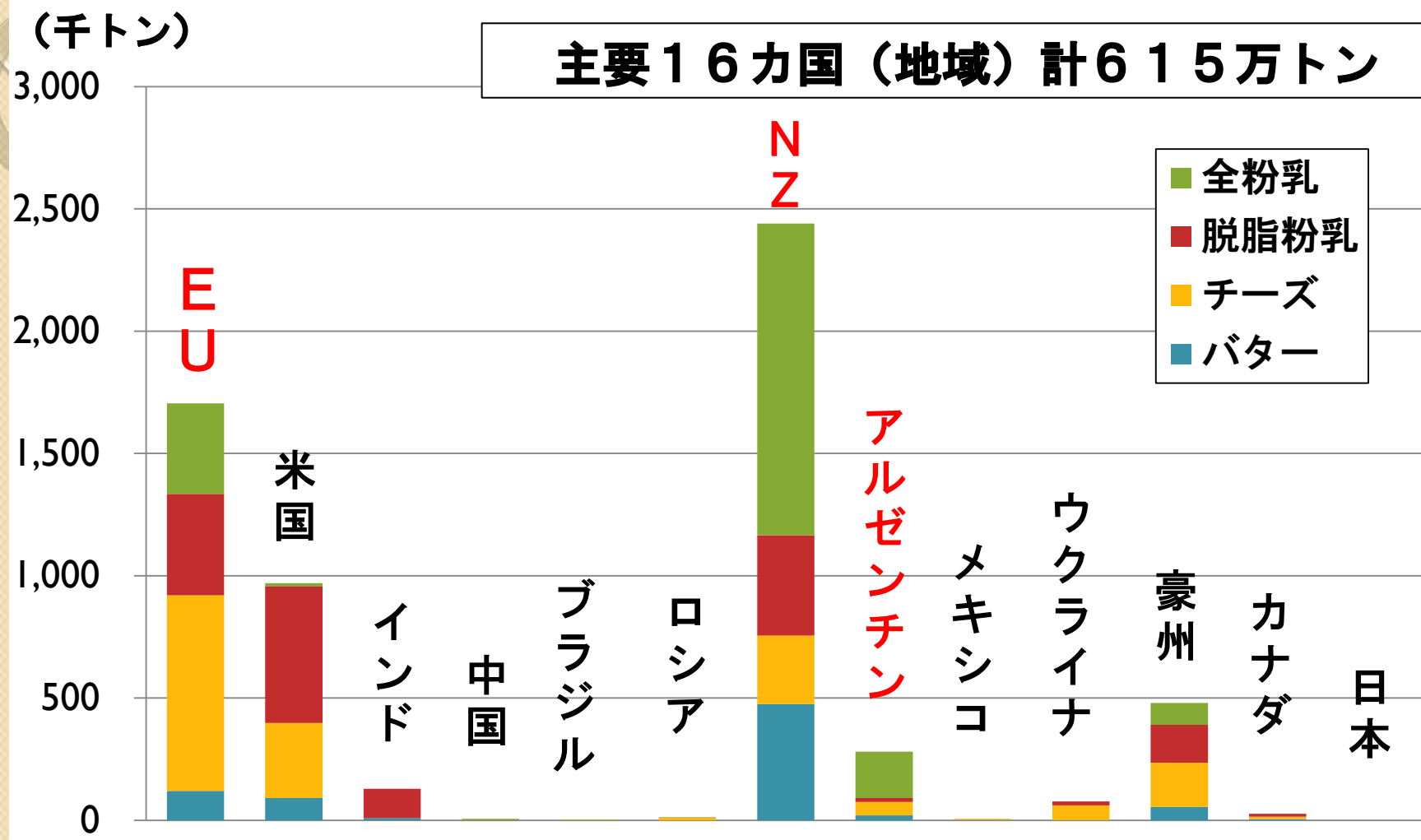
（百万トン）

主要13カ国（地域）計466百万トン



資料：米国農務省「Dairy:World Markets and Trade」

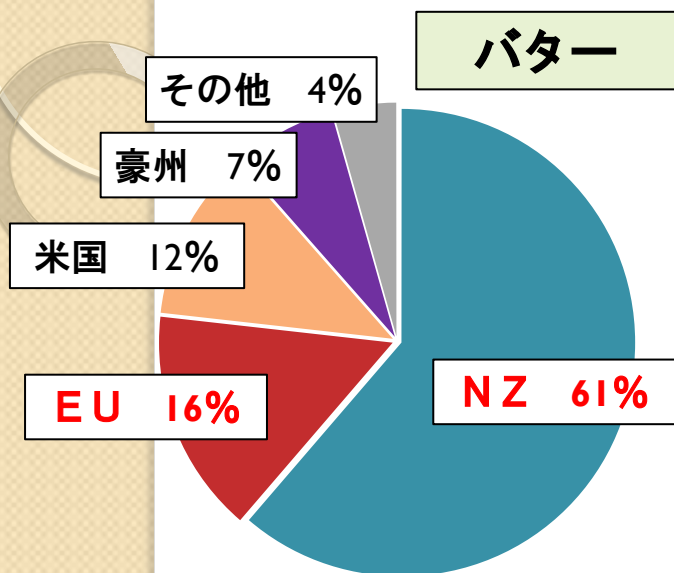
主要な乳製品輸出国（2013年速報）



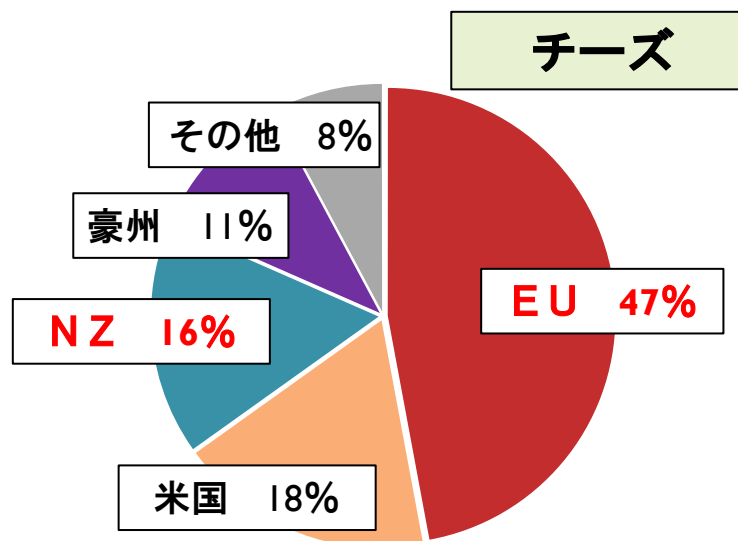
資料：米国農務省「Dairy:World Markets and Trade」

乳製品の国別輸出シェア（2013年速報）

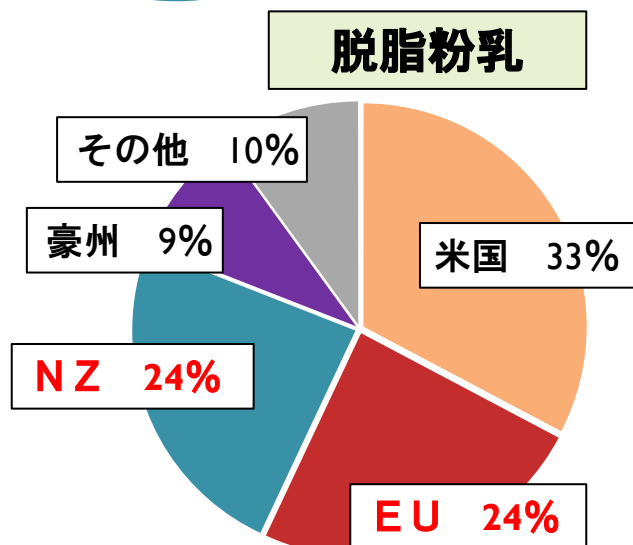
バター



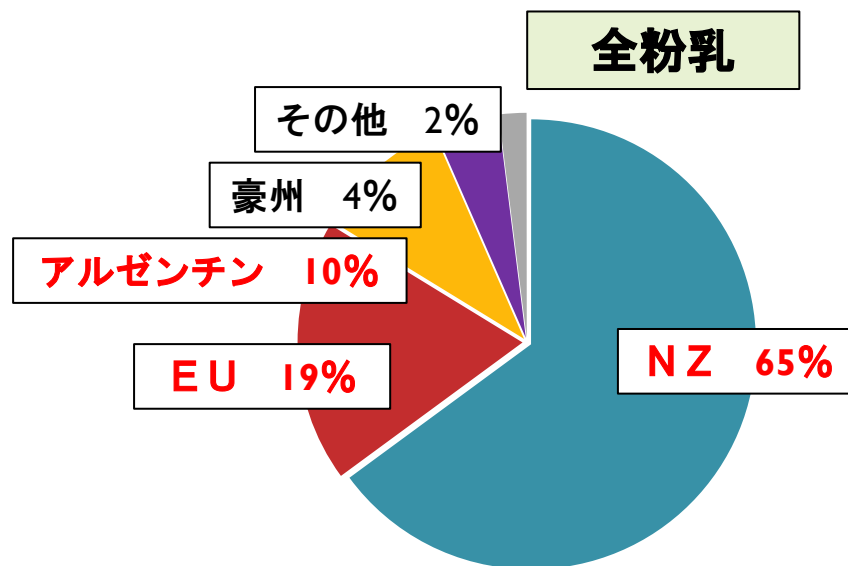
チーズ



脱脂粉乳

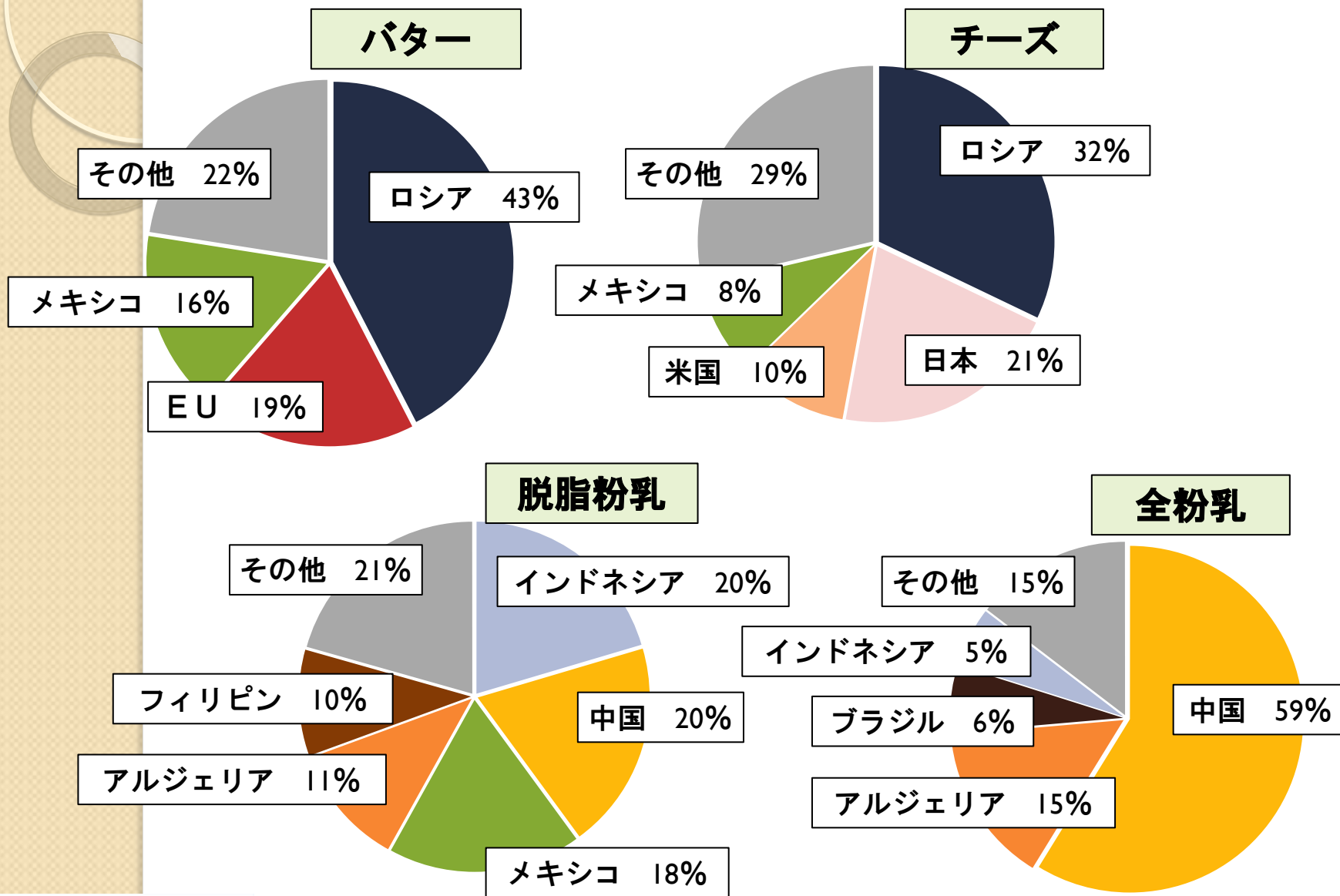


全粉乳



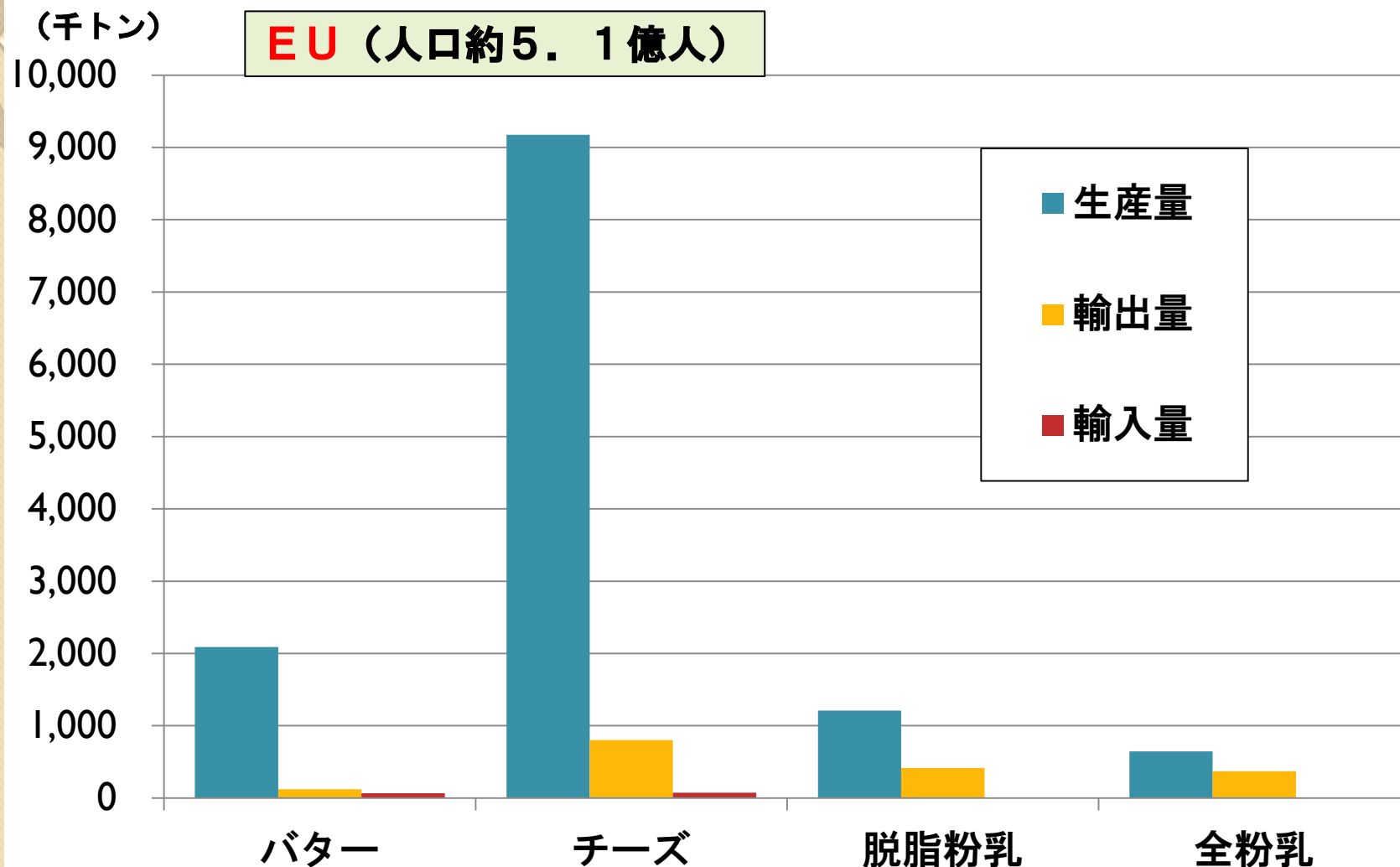
資料：米国農務省「Dairy:World Markets and Trade」

乳製品の国別輸入シェア（2013年速報）



資料：米国農務省「Dairy: World Markets and Trade」

主要輸出国の需給バランス（2013年速報）

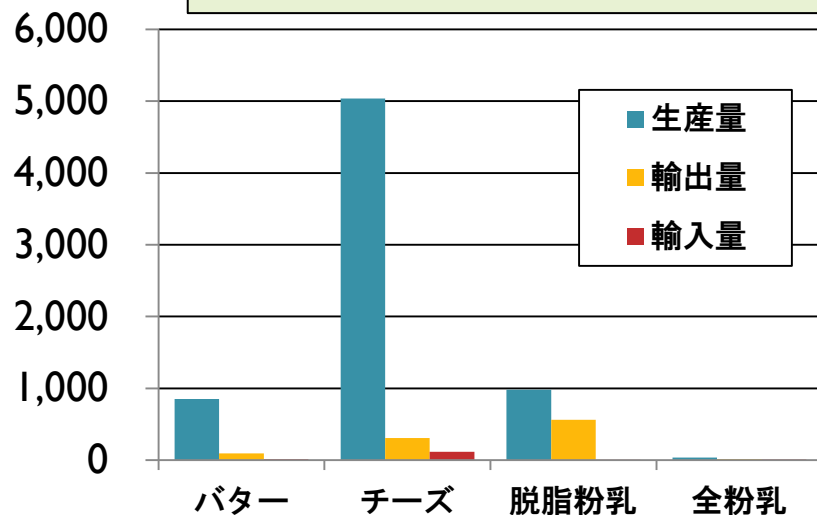


資料：米国農務省「Dairy:World Markets and Trade」



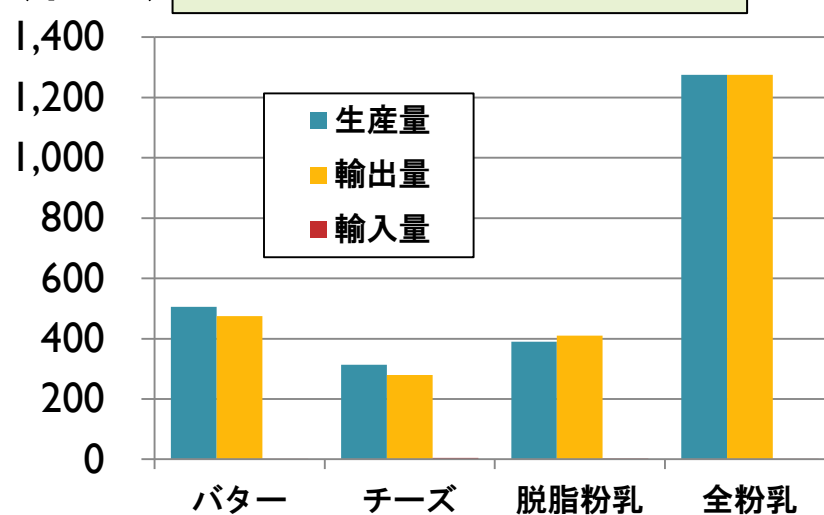
(千トン)

米国（人口約3.1億人）



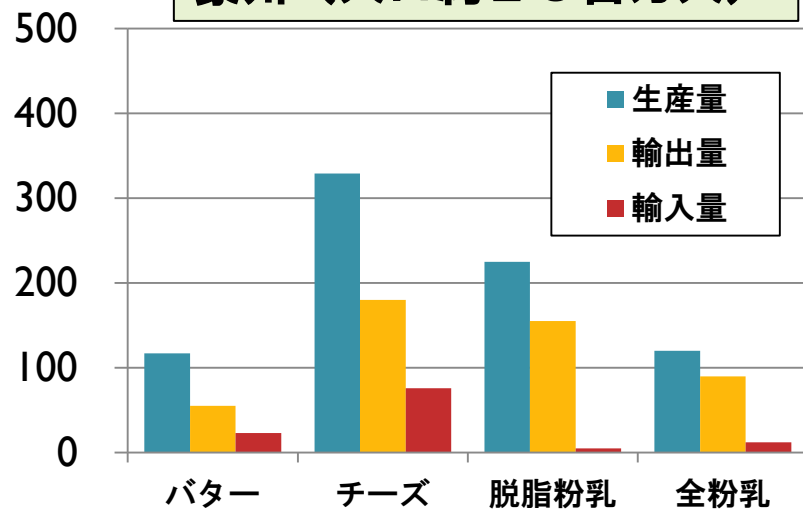
(千トン)

NZ（人口約4百万人）



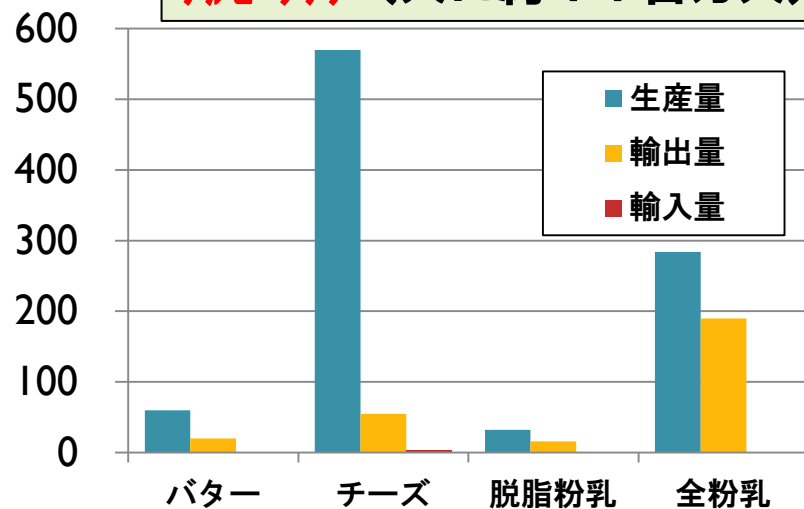
(千トン)

豪州（人口約2.3百万人）



(千トン)

アルゼンチン（人口約4.1百万人）





Ⅱ EUの牛乳乳製品市場の現状

注：本資料中のEU15、EU13とは以下の国を指す。

・EU15(1995年までに加盟した国々)

フランス、ドイツ、イタリア、オランダ、ベルギー、ルクセンブルク、英国、デンマーク、アイルランド、ギリシャ、スペイン、ポルトガル、フィンランド、スウェーデン、オーストリア

・EU13(2004年以降に加盟した国々)

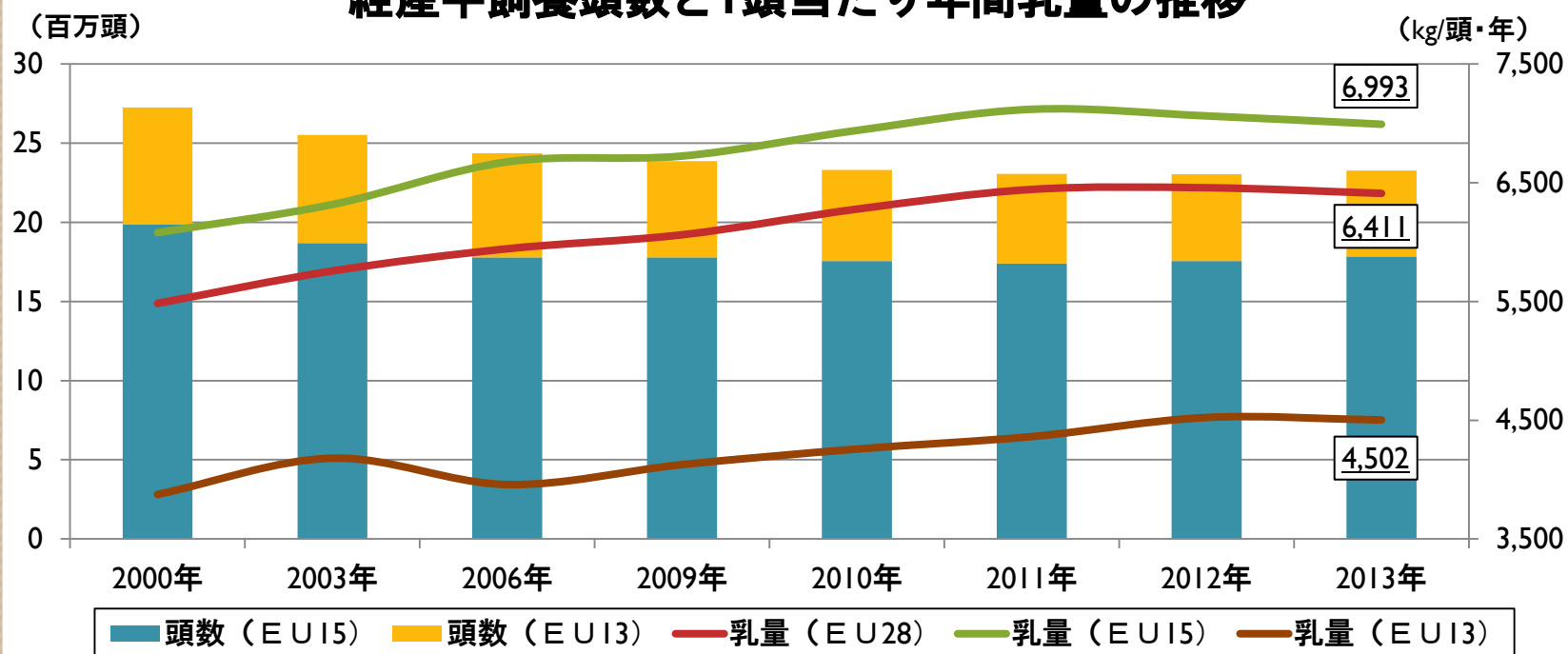
キプロス、チェコ、エストニア、ハンガリー、ラトビア、リトアニア、マルタ、ポーランド、スロバキア、スロベニア、ブルガリア、ルーマニア、クロアチア

経産牛飼養頭数

【飼養頭数は増加に転じる（前年比1.0%増）】

- ✓2013年の経産牛飼養頭数は、2327万9000頭
- ✓上位国は、ドイツ1.9%増、フランス1.5%増、ポーランド2.0%減など
- ✓乳量は全体（EU28）で横ばいも、新加盟国（EU13）は少なく、増加の余地は大きい

経産牛飼養頭数と1頭当たり年間乳量の推移



資料：欧州委員会

生乳出荷量

【記録的な生乳生産の増加（前年同月比7.4%増）】

- ✓2014年4月は 1306万トンと、10カ月連続で前年同月を上回って推移
- ✓1～4月の累計では、前年同期比13.0%増

増加の要因は、

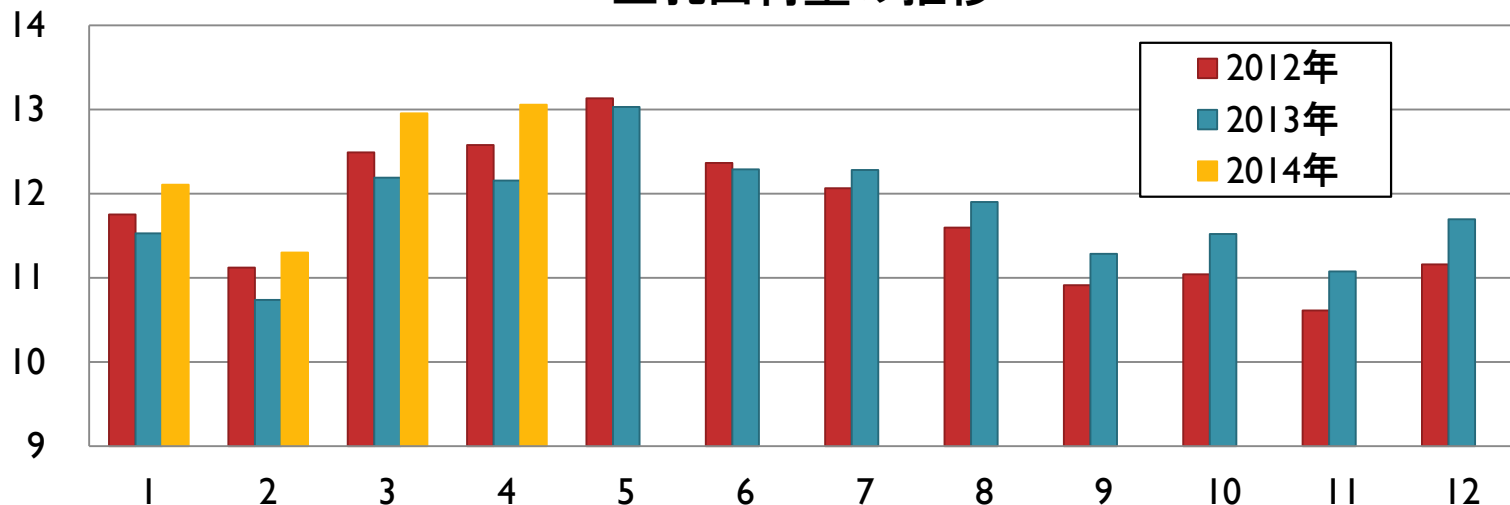
① 冬期からの温暖な天候（牧草生育状況の改善）

+

② クォータ制度廃止に向けての飼養頭数の増加

(百万トン)

生乳出荷量の推移



資料：ドイツ乳製品市場価格情報センター（ZMB）

注：2014年は暫定数値

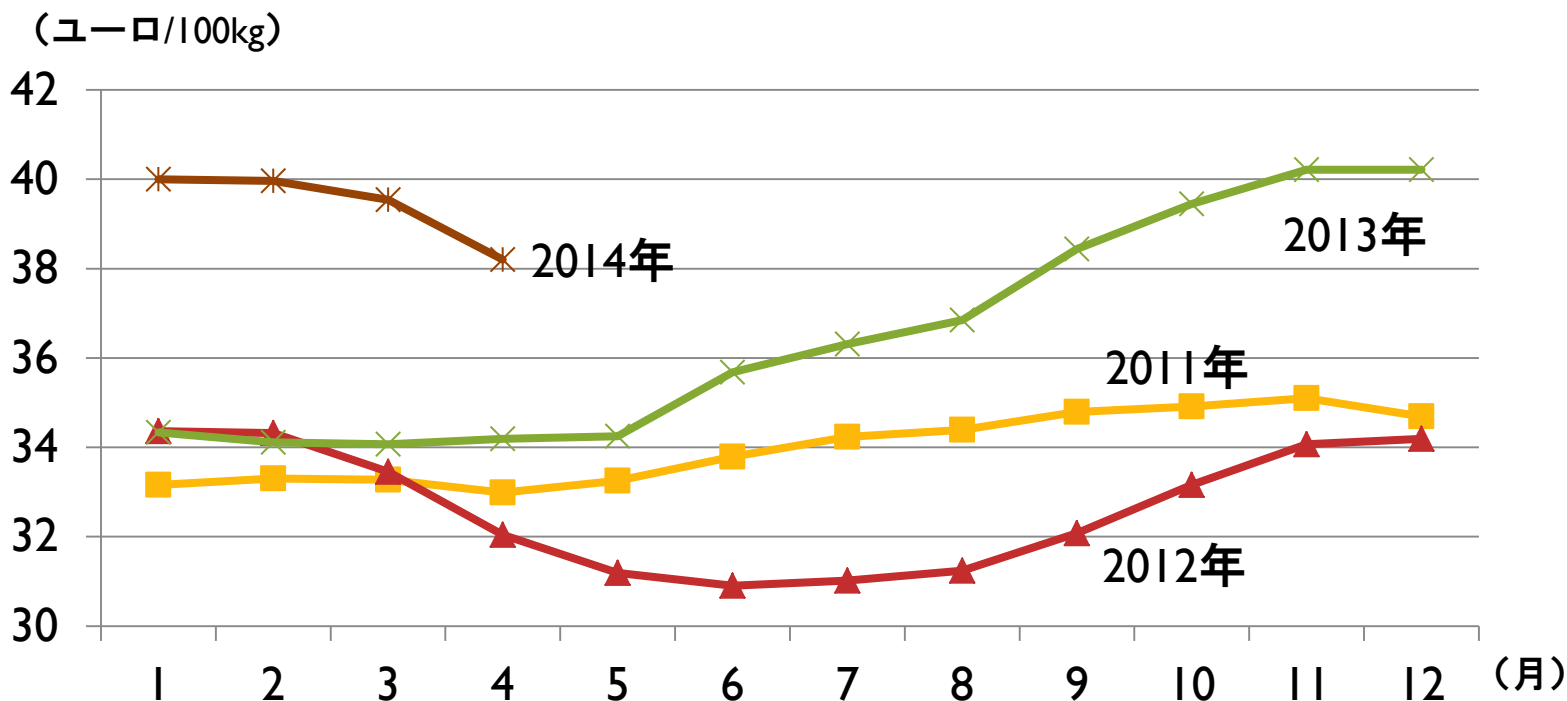
(月)

生乳価格

【前年同月比11.7%高の高水準】

- ✓2014年4月は100kg当たり€ 38.2 (5,348円、前年同月比11.7%高)
- ✓2013年3月以降、前年同月を上回って推移

生乳価格の推移



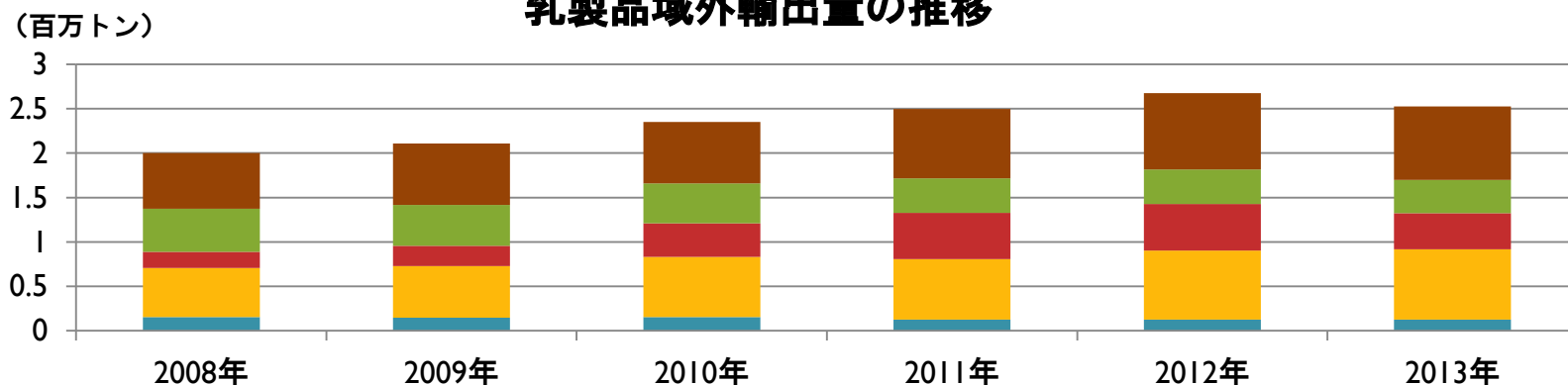
資料：欧州委員会

乳製品輸出

【2014年に入り粉乳類の輸出が好調】

- ✓2013年は前年比5.6%減となったが、2014年に入り輸出は堅調
- ✓2014年1～4月は前年同期比17.5%増、特に脱脂粉乳(同65.9%増)、全粉乳(同30.0%増)が大幅増

乳製品域外輸出量の推移



資料:ZMB

■ バター ■ チーズ ■ 脱脂粉乳 ■ 全粉乳 ■ その他

乳製品の域外輸出量 (1～4月)

(単位:千トン)

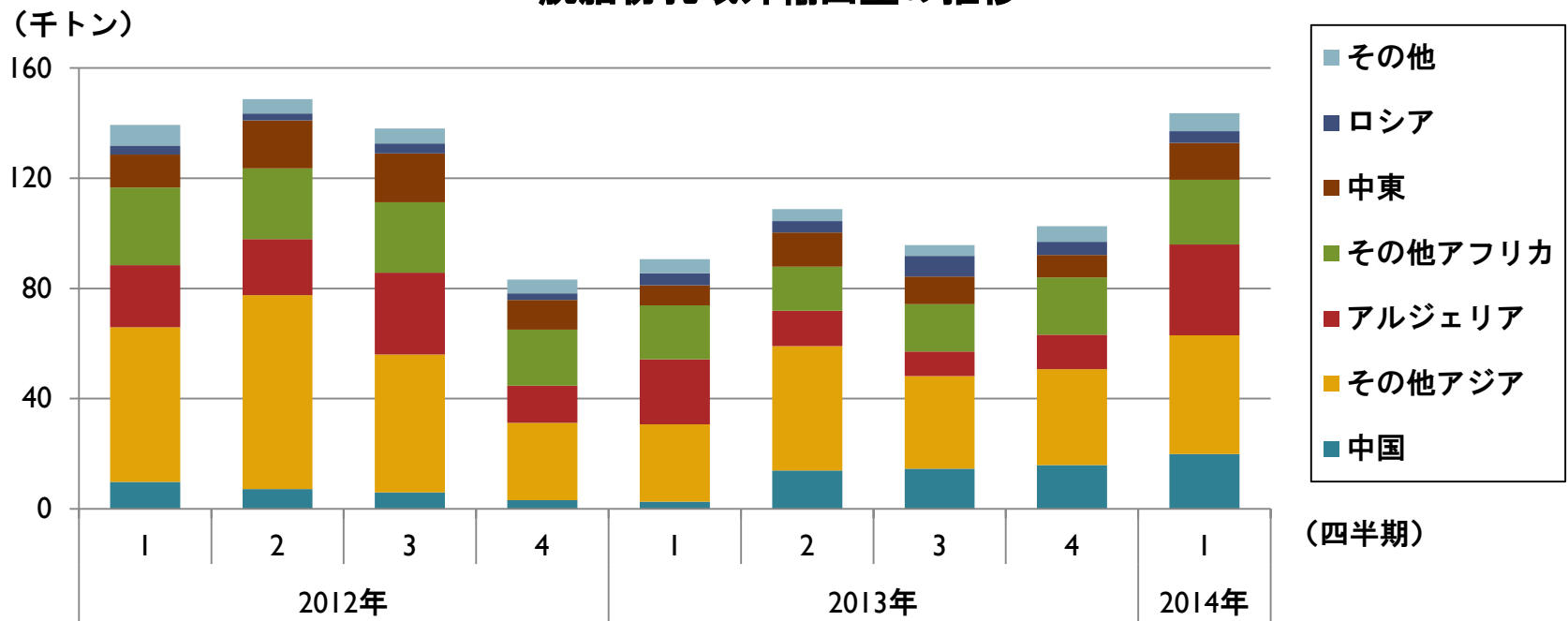
	バター	チーズ	脱脂粉乳	全粉乳	その他	合計
2013年 1～4月	34.4	257.4	128.3	108.6	553.0	1,088.6
2014年 1～4月	43.3	254.1	212.8	141.2	634.4	1,278.9
前年同期比 (増減率)	25.9%	▲ 1.3%	65.9%	30.0%	14.7%	17.5%

脱脂粉乳輸出

【中国、北アフリカ向け輸出が増加】

- ✓2014年第1四半期は中国（前年同期比7.8倍）、アルジェリア（同39.2%増）アジア諸国、北アフリカ向けを中心に大幅増
- ✓主要輸出国は、フランス（同88.9%増）、ドイツ（同45.8%増）、ベルギー（同24.4%増）、ポーランド（同4.9倍）、オランダ（同48.8%増）

脱脂粉乳域外輸出量の推移

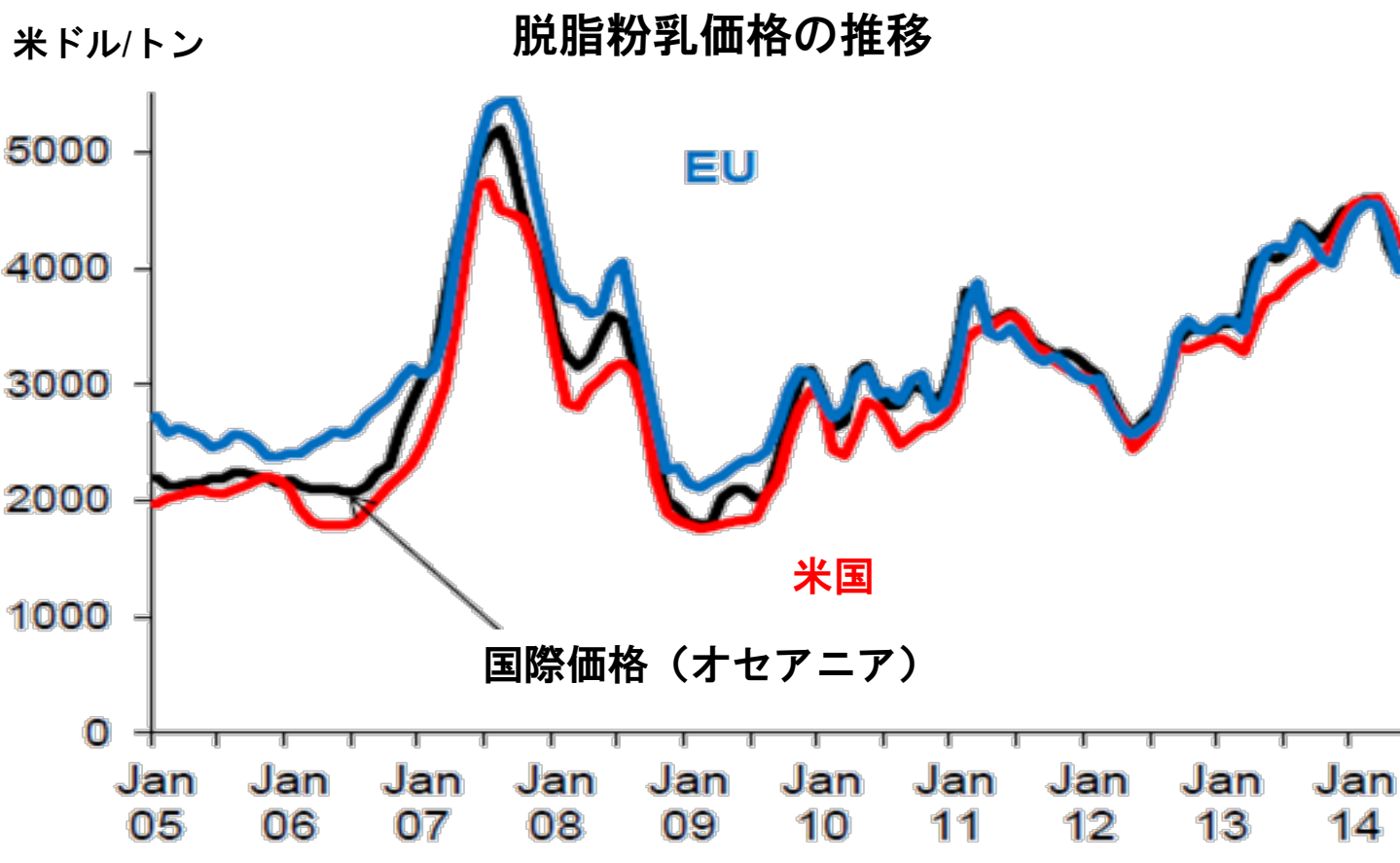


資料：GTI社 「Global Trade Atlas」
HSコード：04021019

脱脂粉乳輸出（国際価格との比較）

【EU価格は国際相場とほぼ同水準】

✓ このため、需要増のアジア向け、
地理的優位性を持つアフリカ向けの輸出が増加



資料：ZMB
注：FOB価格

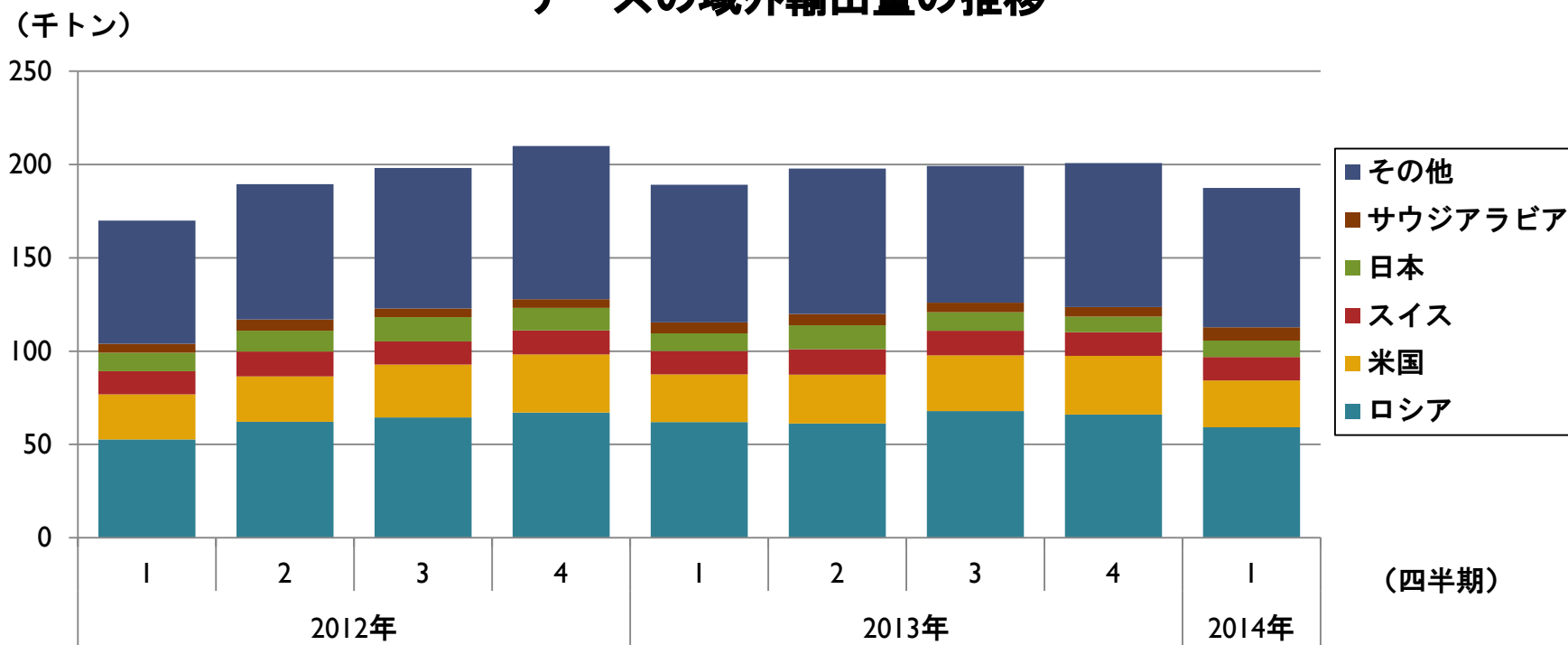
チーズ輸出

【長期的には好調だが、ロシアなど不安定要因も…】

✓2014年の第1四半期は前年同期比0.9%減少

✓ロシア向けが、同4.5%減とやや減少したことが要因（ウクライナ情勢など、EU・ロシア間の政治情勢の悪化が影響）

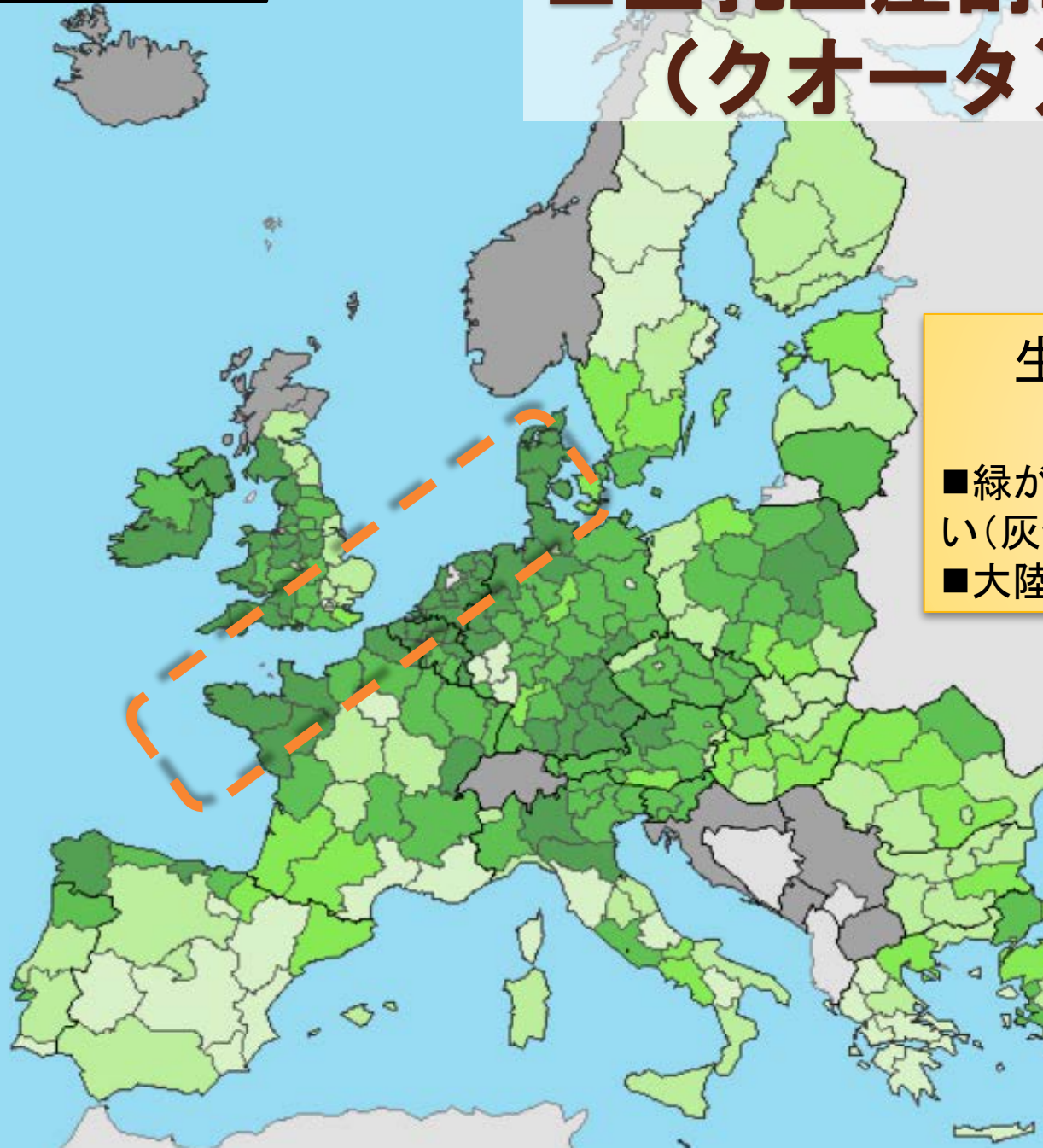
チーズの域外輸出量の推移



資料：GTI社 「Global Trade Atlas」

HSコード：0406

Ⅲ 生乳生産割当 (クォータ) 制度の廃止



生乳生産の分布図 【2011年】

- 緑が濃い地域ほど、生産が多い(灰色はデータ無し)
- 大陸部では北西沿岸部に集中

生乳生産割当（クオータ）制度とは

【制度の目的】

EU加盟国別に生乳生産量の上限を定めることで、域内の牛乳・乳製品の需給調整と乳価を維持

【制度の仕組】

- 加盟国別に生乳生産割当枠（クオータ）を設定
- 超過時は、100 kg当たり€27.83（3,896円）の課徴金
- 加盟国間でのクオータ譲渡は禁止。ただし、国内農家間の売却・貸借、国による買い上げ・再配分などは可能。

【現在の動き】

◆2015年3月にクオータ制度が廃止決定（2008年）

◆廃止の理由

- ① 世界的乳製品需要の増大に伴う国際相場の上昇
- ② ①及び割当量の余剰による乳価維持機能の低下
- ③ 制度維持に対する予算縮小の要請
- ④ 域内市場の硬直化（市場歪曲性）

クォータ制度廃止後に想定される展開

EU北西部の
主要国(英国、
ドイツ、オラン
ダ、フランスな
ど)の生乳生
産が拡大

2015年3月
クォータ制度
廃止

各国内でも
生乳生産地
域が集約化

生乳増産分



成熟市場である域
内消費は横ばい



EU域外市場で
消費(輸出)

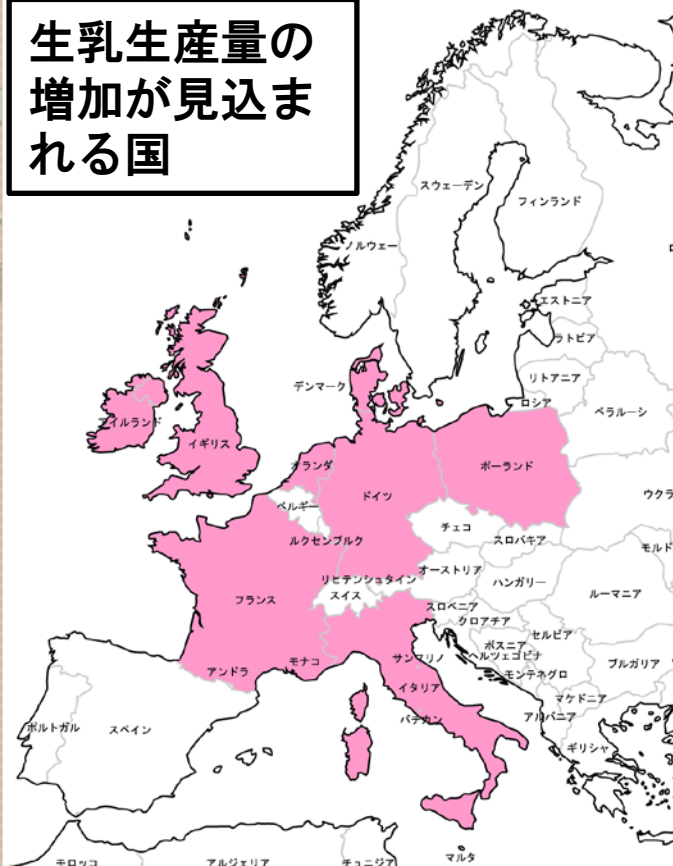
国際価格の変動
がEU域内の
牛乳・乳製品市場
に与える影響大

→価格変動性
(国際価格との
連動性)
が高まる

資料：現地専門家などからの聞き取りによりALIC作成

クォータ制度廃止に向けた各国の状況

生乳生産量の増加が見込まれる国



国別の生乳生産増加量（2017年の予測）

国名	増加量 (万トン)	増加率 (2012/17)
ドイツ	190	1.3%
フランス	140	1.2%
デンマーク	130	2.5%
オランダ	130	2.2%
英国	100	1.4%
イタリア	80	—
アイルランド	60	1.9%
ポーランド	50	1.0%
EU27カ国	490	(年率)0.7%

資料：G I R A（2013年）

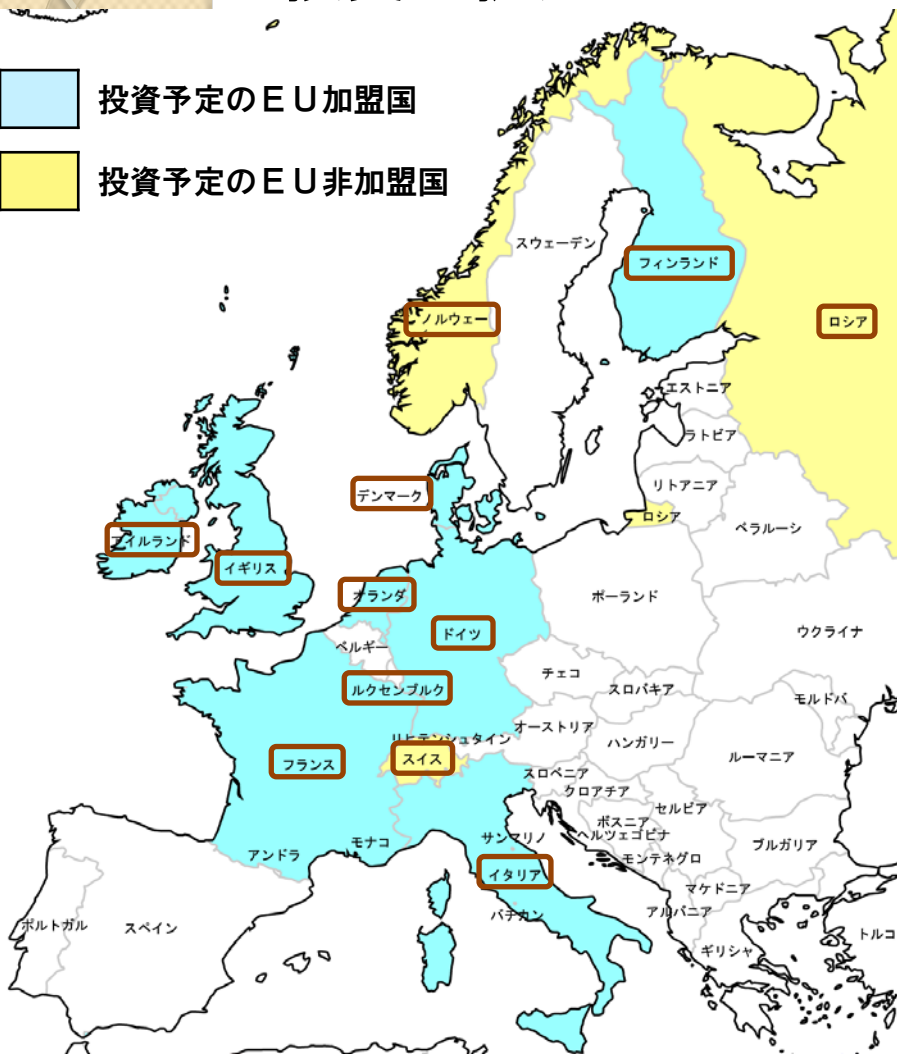
各国のコメント

- フランス、オランダ、ドイツなど主要生産国：クォータ制度廃止に向け、生産者・メーカーが生産拡大体制を進行中
- 東欧諸国やその他の国々：クォータ廃止の影響で自国の酪農の衰退を懸念

【2014年6月の欧州乳製品輸出入・販売業者連合（Eurolait）総会より】

乳製品メーカーの対応状況

➤ 粉乳類を中心に設備投資が拡大



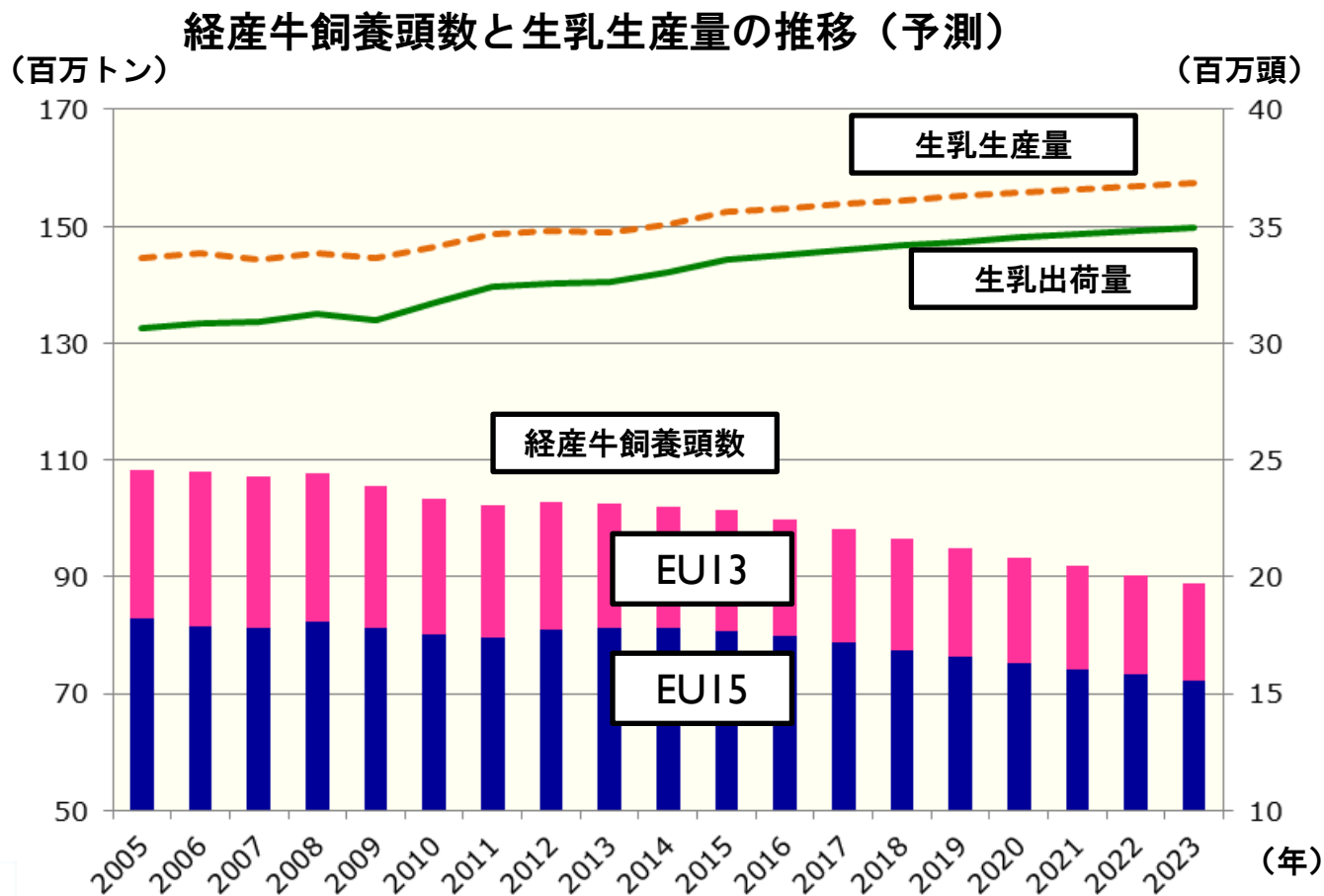
国名	企業名	対象	時期	金額	
				百万ユーロ	億円
デンマーク	アーラフーズ	乳糖工場	2013年	120	168
	アーラフーズ	ホエイ工場	2013年	67	94
	アーラフーズ	グループ全体	2012年	250	350
英国	アーラフーズ	飲用乳工場	-	170	238
	DMV	濃縮加工場	-	60	84
オランダ	フリースランド カンピーナ	生乳及び粉乳工場	-	50	70
	フリースランド カンピーナ	乳児用粉乳工場	-	100	140
アイルランド	グランビア	粉乳工場	-	180	252
	デイリーゴールド	粉乳工場	-	130	182
	ケリー	試験研究施設	-	100	140
	ダノン	乳児用粉乳工場	-	50	70
フランス	ソディアール・サンユアン	乳児用粉乳工場	-	100	140
	ラクタリス	乾燥施設の増築	-	40	56
	ライタ	工場建設等	今後2年間	100	140
	ボングレイン	工場建設等	2012年	145	203
フィンランド	パリオ	ホエイ工場	-	55	77
	ホッフワルド	工場建設等	今後2年間	100	140
ドイツ	MUH・アーラフーズ	粉乳工場	-	60	84
	ウエルゼナ	粉乳工場	-	60	84
イタリア	ラクタリス	工場建設等	-	180	252
スイス	ネスレ	試験研究施設	今後10年間	415	581
ノルウェー	タイン	その他工場	-	220	308
	ダノン	工場建設等	今後5～7年間	545	763
ロシア	ラスモコ	工場建設等	今後3年間	310	434
	モロコ	大規模農場設営	-	150	210
合計				3,757	5,260

資料：GIRA（2013年） 注：1ユーロ＝140円（2014年6月末TTS）₂₂

IV 今後の見通し

生乳生産の見通し

- 飼料給与内容の変更と遺伝的改良により、1頭当たり乳量が増加
- 経産牛飼養頭数は減、生産量は増加と予測

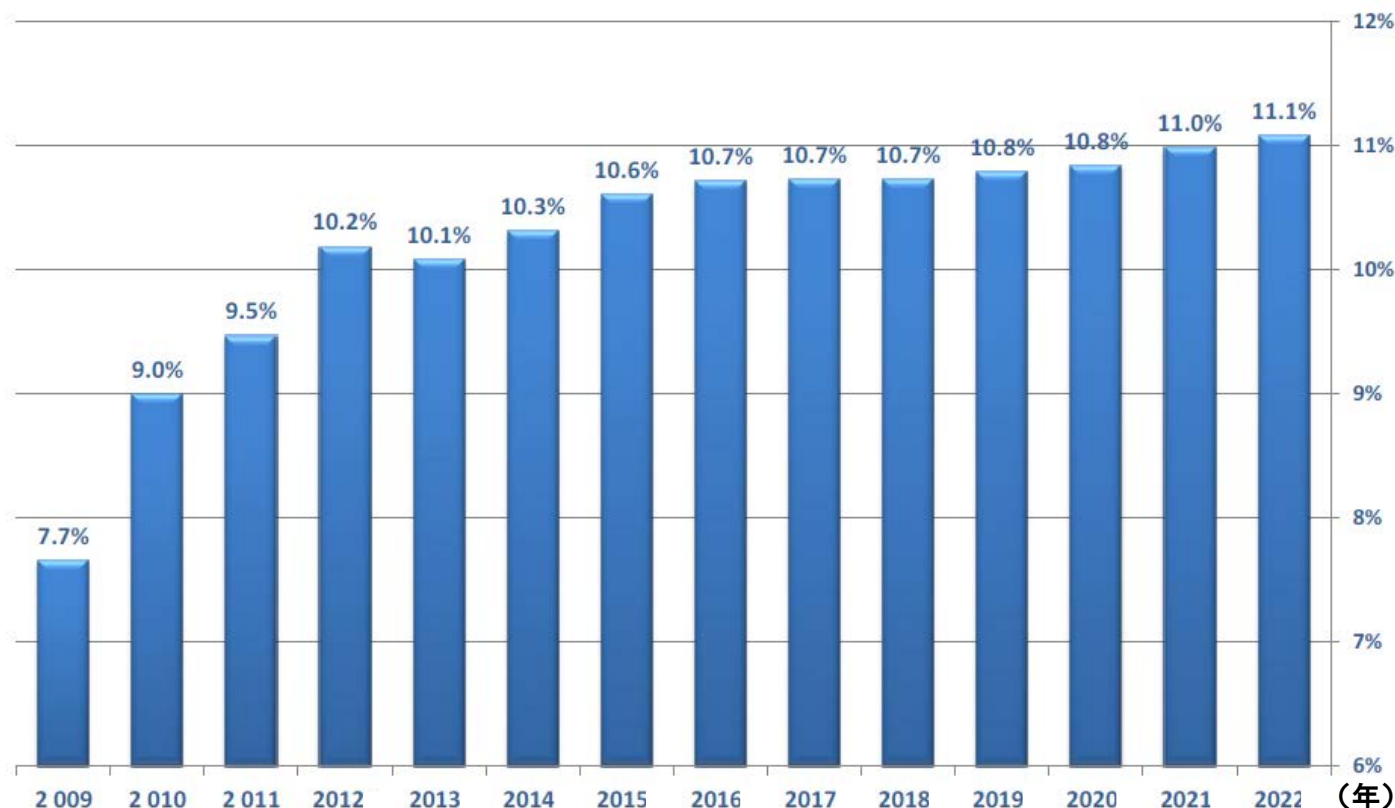


資料：欧州委員会「Prospects for Agricultural Markets and Income in the EU 2013-2023」

乳製品輸出の見通し

- 輸出割合の増加を見込む
- 生乳増産分は輸出へ

生乳生産量に占める輸出量割合の推移（予測）



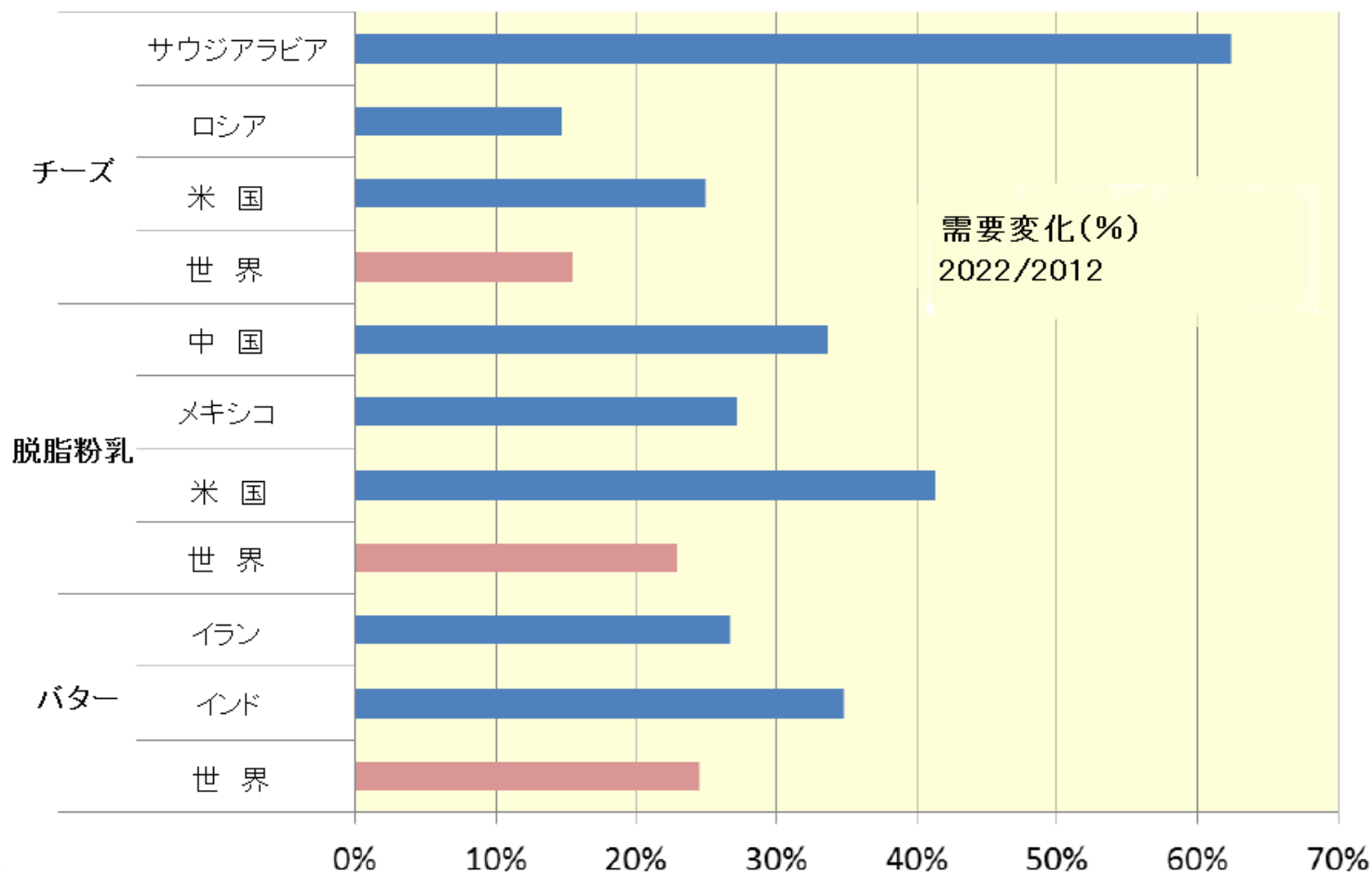
資料：欧州委員会

注：各種乳製品需要を生乳換算して算出

世界の乳製品需要の見通し

▶世界的に乳製品需要が伸びると予測

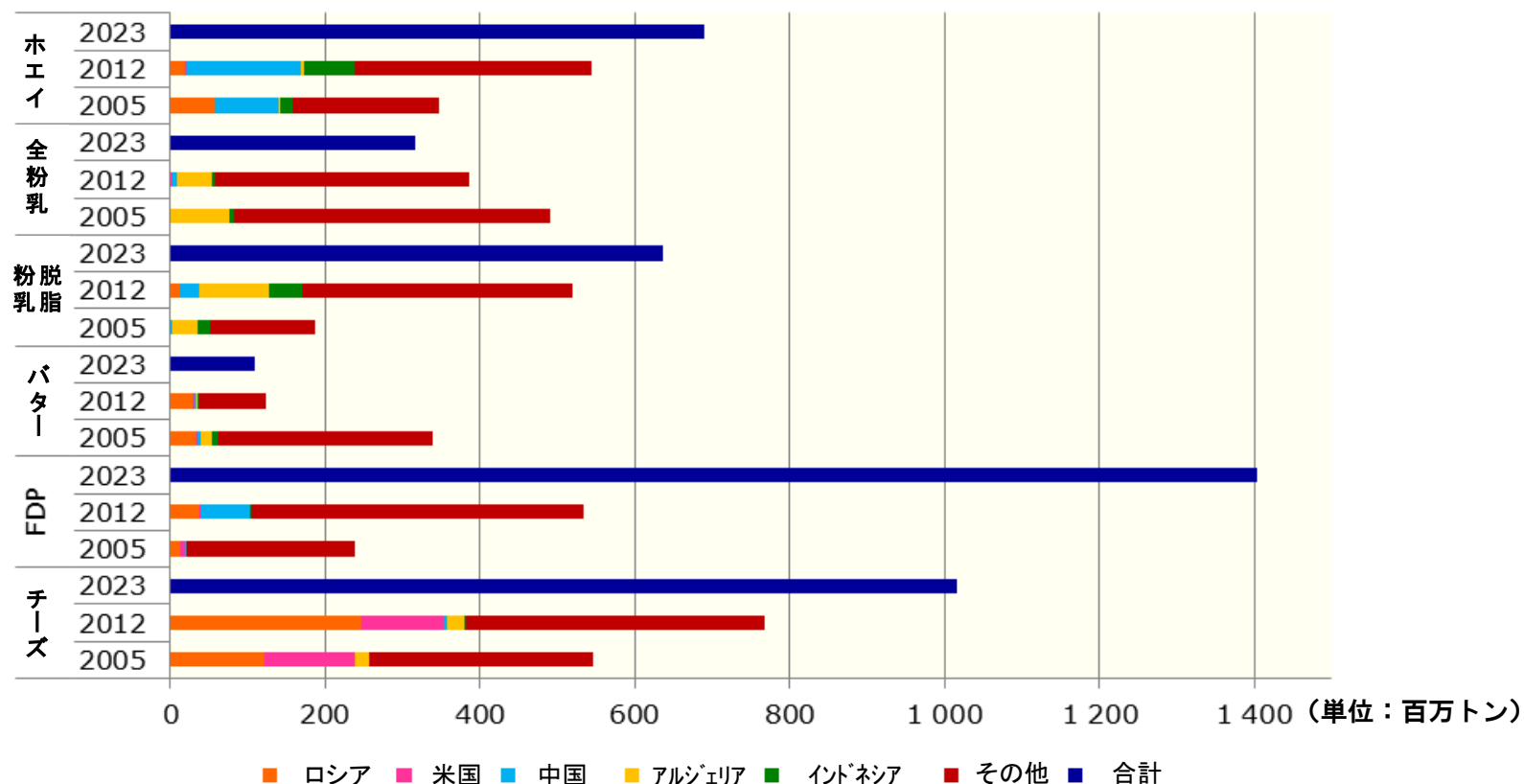
乳製品需要の変化（品目・地域別、2012年と2022年予測の比較）



乳製品輸出先の見通し

- アジア・アフリカ向けの輸出増加
- 地理的表示保護(PGI)などの認証を受けたチーズや、機能性を付与したFDPなど、「高付加価値商品」の輸出が増加

EU乳製品の主要な輸出先（2005、12年実績と2023年予測）



資料：欧州委員会「Prospects for Agricultural Markets and Income in the EU 2013-2023」

注：FDP（fresh dairy products）とは、飲用乳やヨーグルトなどを指す。

今後の注目点 その1

➤ 新たな需給調整施策の動向と実現性

① ミルクパッケージ（議会及び理事会規則EU261/2012）

- 2012年に制定された制度
- 生産者・加工メーカー間の取引関係を健全化することが目的

《内容》

- a. 生乳出荷条件に係る契約関係の明確化
- b. 組織化による生産サイドの交渉力強化
- c. 生産・加工などの業種間の組織化（垂直的統合）
- d. 取引情報の把握

② 牛乳・乳製品市場観測（MMO: Milk Market Observatory）

- 2014年4月から欧州委員会ホームページに開設
- 迅速な情報提供により、需給・市場条件に即した生産を促すことが目的
- 市場情報、短期・長期の予測などを公表

今後の注目点 その2

- 現在の思惑通り、好調な乳製品の輸出は継続するか・・・？
 - オセアニアや米国のほか、新たな生産拡大地域との競合は？
 - 中国市場は不安定
過剰な依存（期待）は危険との声も…

ご清聴ありがとうございました。



写真：オランダ ワーヘニンゲン大学の酪農研究所

- 本情報は、情報提供を目的とするものであり、取引・投資判断の基礎とすることを目的としていません。本資料の正確性の確認等は、各個人の責任と判断をお願いします。提供した情報の利用に関連して、万一、不利益が被る事態が生じたとしても、ALICは一切の責任を負いません。

【海外情報】

<http://www.alic.go.jp/international/overseas/livestock.html> 30